

2018年度以降入学生	企業経済学	(授業番号)	経営学 P026	経済学 P026	ファイナンス P026	2単位
2017年度以前入学生	企業経済学基礎特論	(授業番号)	高度専門職業人養成 P026	高度金融専門人材 P02	研究者養成プログラム P02	2単位
担当教員	松林 伸生		後期	木曜	6時限	
授業方針・テーマ	<p>企業の問題を考える上で、経済学は、複数の主体(企業、消費者等)が相互に関連しあう状況下での意思決定とそれに基づく結果を分析するための科学的方法論として重要な役割を果たします。この講義では、ミクロ経済学やゲーム理論の基本的な事項について、経営上の意思決定への応用という観点を意識して解説していきます。多くのトピックを扱いつつも、それらの根底に共通する考え方を体得して頂くことを目標とします。</p>					
習得できる知識・能力や授業の目的・到達目標	<p>(1) 習得できる知識・能力: ミクロ経済学やゲーム理論に関する基本的知識と、ビジネスにおける意思決定の方法論としての基本的な考え方。</p> <p>(2) 授業の到達目標: ビジネスにおいて観察されるさまざまな競争・協調行動、あるいは戦略的な意思決定について、企業経済学(ビジネス・エコノミクス)の考え方をを用いて理解を深められるようになること、そして実際に意思決定の場面において、企業経済学(ビジネス・エコノミクス)を援用した合理的な問題解決を自ら提案できるようになることを目標とします。</p>					
授業計画・内容 授業方法 授業外学習	<p>10/4 経営のための経済学とは? 10/11 数学的準備 10/18 消費者の合理的行動の定式化と需要関数 10/25 企業の合理的行動の定式化と供給関数 11/1 完全競争と市場均衡 11/8 バレート最適性 11/15 不完全競争(独占、寡占)の理論(1) 11/22 不完全競争(独占、寡占)の理論(2) 11/29 演習(1) 12/6 非協力ゲームのモデル化と均衡概念 12/13 価格差別の理論 12/20 ネットワーク外部性、プラットフォームの理論 1/10 製品差別化の理論 1/17 演習(2) 1/24 履修者による自主課題のプレゼンテーション</p> <p><授業外学習> ・初回の講義時に講義に関連した資料を紹介するので、毎回それを用いて予習・復習を行ってください。 ・最終回のプレゼンテーション(実施する場合。後述参照)に向けては、そのテーマや内容について日頃より検討を行い、充実した成果を出せるよう努力してください。これも詳しくは初回の講義時に説明します。</p>					
テキスト・参考書等	<p>教科書は指定しません。毎回配布する資料をもとに講義を進めます。なお、講義資料は講義終了後に所定のホームページ(初回の講義で紹介)にもアップします。参考書は最初の講義の中で紹介しますが、一部を下記にも記しておきます。</p> <p>[1]「経営の経済学」丸山雅祥著、有斐閣 [2]「ミクロ経済学」神取道宏著 日本評論社 [3]「入門ミクロ経済学」(原著第5版)ハル・R・ヴァリアン著(佐藤隆三訳)、勁草書房 [4]「MBAのためのミクロ経済学入門(1)、(2)」デビッド・M・クレブス 著(中泉真樹、他訳)、東洋経済新報社 [5]「ミクロ経済学ー戦略的アプローチ」松井彰彦&梶井厚志著、日本評論社</p>					
成績評価方法	<p>講義への出席・質疑応答(20%)、自主課題のプレゼンテーション(60%)、最終レポート(20%)により評価します。ただし、履修人数が想定よりも多い場合にはプレゼンテーションではなく期末試験を実施する可能性があります。詳細については初回の講義時に話すようにします。評価にあたっては、上述した授業の到達目標と照らし合わせてどの程度のレベルまで理解できているかをもとに評価します。なお、プレゼンテーションや最終レポートの詳細については別途講義内に、それぞれ印刷物を配布して説明します。</p>					
特記事項 (他の授業科目との関連性)	<p>・講義は数学を用いて展開されます。2回目の授業で理解に必要な最低限な数学的準備を行います。できるだけ事前に大学教養(学部)レベルの経済数学(特に偏微分)を習得しておいて下さい。 ・オフィスアワーについては、他大学勤務につきメールで随時連絡してください。 松林:nobuo_m@ae.keio.ac.jp</p>					